

公開資料

# 蕪崎市立病院経営健全化計画

## <平成22年度実績報告書>

記載例 この報告書は、蕪崎市行政改革大綱の報告書を準用しています。

※ここでは、推進段階を以下の4段階に分類し、記載しています。  
 「検討」：調査、研究、情報収集に努め、措置事項を積極的に推進するため、検討を行います。  
 「一部実施」：取組内容を一部実施し、完全実施に向け関係機関等との調整を図ります。  
 「実施」：措置項目を完全実施します。  
 「継続実施」：継続的に実施するとともに、更なる改革に向け、調査研究を行います。  
 ※下段の数値は、実施計画上の財政効果額（単位：千円）を記載しています。  
 <人件費とは、財政効果額を人件費削減効果として計上したもの>  
 <未記載は、直接的な財政効果額を記載できないか、現時点で不明なもの>

大項目	実施計画の実施項目番号を記載しています。		実施計画に基づく実施項目名を記		
実施項目	No.				
実施計画内容	計画に基づく実施計画内容を記載しています。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階			
	財政効果額				
H21年度取組状況又は結果	H20年度取組状況等を具体的に記載しています。	実施状況：実施計画では、推進段階を「検討」、「一部実施」、「実施」、「継続実施」の4段階に分類しているため、実施状況もこの4段階の分類に基づいて記載しています。			実施状況
					達成状況
H21年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		

H21年度効果については、経費効果（単位：千円）、人員効果（単位：人、1人未満は、小数点以下1位まで）、その他効果を記載しています。  
 <未記載は、直接的な財政効果額を記載できないか、現時点で不明なもの>

達成状況：実施項目を実施したことによる効果の状況を、計画と比較して自己評価を行っています。  
 AA：効果が上回ったもの  
 A：効果が計画どおりのもの  
 B：効果がやや下回ったもの  
 C：ほとんど効果が上がらなかったもの  
 検討：検討中のもの  
 X：未着手又は現時点で評価しがたいもの

大項目 3 民間的経営手法の導入 健全化計画記載 P21

実施項目	No.1	民間的経営手法の導入			
実施計画内容	今後、診療材料・物品等の物流の一括管理や看護補助業務等の委託が考えられるが、その際には患者満足度の向上を基本に、単に民間委託することなく、運営面での弊害や費用対効果を充分検討しながら積極的に導入を図る。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	検討	検討	
	財政効果額				
H22年度取組状況又は結果	<p>《平成21年度》 既に、医事・会計部門、患者給食部門、清掃業務、設備管理等を民間委託している。民間的経営手法が可能な業務の実施部門については、現在検討中である。患者満足度調査の分析結果からは、新たに民間委託するような要望事業はありませんでした。</p> <p>《平成22年度》 新規に委託する業務は現状なし。引続き、現状の委託業務の内容の見直しを検討して参ります。</p>			実施状況	
				検討	
				達成状況	
				検討 (検討中のもの)	
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		

大項目 4 再編・ネットワーク化の取り組み 健全化計画記載 P22

実施項目	No.1	再編・ネットワーク化の取り組み			
実施計画内容	山梨県の公立病院等の再編・ネットワーク化構想によると、引き続き再編・ネットワーク化を検討していく必要があるとの判断が示されました。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	検討	検討	
	財政効果額				
H22年度取組状況又は結果	<p>《平成21年度》 その進め方としては、広大な面積を有するこの地域において、身近な場所で基本的な診療が受けられる体制を確保するため、3つ(当院・甲陽病院、塩川病院)の公立病院の維持を図り、該当する医療機関・自治体を中心となって検討を進め、県がこれに参画し支援していくとされました。</p> <p>このため、平成23年度までの当院の経営状況を踏まえ、策定期間内(平成25年度まで)にその方向性が示せるよう引き続き検討を継続していきます。</p> <p>《平成22年度》 引き続き検討中。</p>			実施状況	
				検討	
				達成状況	
				検討 (検討中のもの)	
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		

実施項目	No.1	経営形態の見直し			
実施計画 内容	地方公営企業法の全部適用、地方独立行政法人化、指定管理者制度などの経営形態について具体的な検討が必要です。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	検討	検討	
		財政効果額			
H22年度 取組状況 又は結果	《平成21年度》 現在の当院の経営形態(地方公営企業法の一部適用)では、病院長に人事や予算の権限が無く、病院が弾力的に且つ自主的に病院を運営していくことが困難な状況にあります。一方で、当院の175床(H21.12.1届出△25床)という病院規模を考えた場合、当院のみで前記のような経営形態の見直しを検討することは現実的ではなく、峡北地区における再編・ネットワーク化と併せて議論を進めるべきであると考えています。このため、平成23年度までの当院の経営状況を踏まえ、策定期間内(平成25年度まで)にその方向性が示せるよう引き続き検討を継続していきます。 《平成22年度》 引き続き検討中。			実施状況	
				検討	
				達成状況	
				検討 (検討中のもの)	
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		

実施項目	No.1	(1) 医師及び看護師の人員確保・離職防止対策 ① 土曜日の外来休診			
実施計画 内 容	土曜日の外来診療を休診に することにより、医師・看護師 の過重労働の緩和を図る。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	継続実施	
	財政効果額				
H22年度 取組状況 又は結果	土曜日の休診 平成21年10月から実施 《H22年度》実績(正規職員採用) 医師 3名(小児科・整形外科・眼科)＝異動退職2、自己都合1 補充 減員なし 看護師 6名(4月3名、6月1名、10月2名) 看護師退職者 4名(傷病2(准看1)、夫の転勤1、転院1) 〃定年 1名＝23.4採用者 1 ※過重労働等を原因とした退職者がいなかったこと、大学からの派遣医師の異動退 職補充がなされたこと、看護師の採用(新卒者3名を含む)が出来たことなどから、効 果はあるものと考えます。				実施状況
					継続実施
					達成状況
					A (効果が計画どおり)
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		

実施項目	No.2	(1) 医師及び看護師の人員確保・離職防止対策 ②院内保育所の設置			
実施計画 内 容	職員の子育て支援、特に女 性職員の働きやすい環境づ くりをめざすことにより、女性 医師や看護師確保の対策の ひとつとして院内保育所の設 置を行う。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	検討	実施	
	財政効果額				
H22年度 取組状況 又は結果	《平成21年度》 市立保育園再編整備計画や旧ルネス跡地に子育て支援施設の計画があり、その中 で病院職員の保育枠が確保出来るか検討することから、その計画の動向を見定 めた上で再度検討することとし、本年度の予算執行は行わないこととした。 《平成22年度》 平成23年4月開設に向け、院内保育所を設置することが決定、週2回の夜間保育を実 施することとした。 平成23年3月院内保育所施設完成。				実施状況
					実施
					達成状況
					× 現時点では評価しが たいもの
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		

実施項目	No.3	(1) 医師及び看護師の人員確保・離職防止対策 ③宿日直手当等の見直し			
実施計画 内 容	医師・看護師の勤労意欲の低下や離職防止のため ①医師の救急勤務医手当を創設 ②看護職(補助者を含む)夜勤手当の見直し	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	継続実施	
		財政効果額			
H22年度 取組状況 又は結果	《平成21年度～》 医師救急勤務医手当 日直時 13,500円 当直時 18,600円 看護職夜勤手当 看護職 深夜勤務時 3,200円→4,000円 準夜勤時 2,800円→3,600円 補助者 " 2,500円→3,300円 " 2,200円→3,000円			実施状況	
				継続実施	
				達成状況	
	大学からの派遣医師の異動退職補充がなされたこと、看護師の採用(新卒者3名を含む)が出来たことなどから、効果はあるものと考えます。(再掲)			A (効果が計画どおり)	
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		
			平成22年度末の看護師の退職者が定年退職者1名のみであったこと、その1名も再就職してくれたことなどから、離職防止の効果もあるものと考えます。		

実施項目	No.4	(1) 医師及び看護師の人員確保・離職防止対策 ④育児短時間勤務制度の導入			
実施計画 内 容	制度の導入により、職員が離職することなく育児が可能となり、復職の際に他の病院を選択するケースが無くなると考えられます。離職防止にも効果があると思われるため、早急に条例化します。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	継続実施	
		財政効果額			
H22年度 取組状況 又は結果	《平成21年度》 平成22年3月定例会市議会にて議決、平成22年4月1日から施行。 「荏崎市職員の育児休業等に関する条例」の一部を改正する条例 《平成22年度》 年度末現在希望者はありません。			実施状況	
				継続実施	
				達成状況	
				X (現時点で評価しがたいもの)	
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		
			看護師募集時のセールスポイントともなり、採用後に出産を考えている看護師の採用が期待できます。		

大項目

6 当院における経営効率化の取り組み

健全化計画記載 P24

実施項目	No.5	(1) 医師及び看護師の人員確保・離職防止対策 ⑤認定看護師の育成支援			
実施計画内容	認定看護師を育成することにより、患者が良質な医療・看護を受けられる。また、病院の評価向上にも繋がる。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	未実施	未実施	
		財政効果額			
H22年度取組状況又は結果	《平成21年度》 平成22年度より希望者があれば、予算化し実施していきます。なお、認定看護師の育成に関しては山梨県看護協会からの補助制度があるため、これらも有効に活用していきます。 《平成22年度》 年度末現在希望者はありません。			実施状況	
				未実施	
				達成状況	
				X (現時点で評価しがたいもの)	
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		
			看護師募集時のセールスポイントともなり、意欲ある看護師の採用が期待できます。		

大項目

6 当院における経営効率化の取り組み

健全化計画記載 P25

実施項目	No.6	(1) 医師及び看護師の人員確保・離職防止対策 ⑥一次救急の開業医との連携			
実施計画内容	入院を要さない患者については、本来開業医が受け持つこととされていますが、現在その責務は果たされておりません。開業医との連携により、峡北地区の3病院が同一歩調で一次救急を任せられる体制作りが急務であり、韮崎市・北杜市など関係機関と検討を進めていきます。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	未実施	検討中	
		財政効果額			
H22年度取組状況又は結果	《平成21年度》 一時救急の役割を4病院が担っている。開業医に本来の任務を果たしていただくには、医師会・県の強い要請が急務であるが、その役割をする考えは無いようであり、解決が困難で開業医との連携は難しい状況にある。 《平成22年度》 北巨摩地域の救急医療体制について、開業医による一次救急の実施に向け山梨県(中北保健所)と北巨摩医師会、二次救急病院による検討会が9月に行われ、実施に向け具体的な課題を検討した。→平成23年4月から開業医が輪番制による1次救急を受け持つこととなった。平日の6時から9時まで			実施状況	
				検討中	
				達成状況	
				X (現時点で評価しがたいもの)	
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		

実施項目	No.1	(2) 病床数の見直しによる人員の適正配置 ①一般病床の再編			
実施計画内容	2階病棟の診療科である小児科及び眼科は入院患者数にばらつきがあり、看護体制を組むのに無駄と無理が生じている。このため、2階を閉鎖し、看護の人材を有効に活用していく。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	達成済	
	財政効果額				
H22年度取組状況又は結果	《平成21年度》 ・2階病棟閉鎖済(総看護師長室・作業療法室・糖尿病教室等として利用、他は空室) ・病床の削減は、12月1日届出(関東信越厚生局) 一般病床 141床(△25床) 2階31床→0床 3階47床→51床 4階46床→48床 5階42床(変更無) 《平成22年度》 この項目は、達成済み。			実施状況	
				達成済	
				達成状況	
				達成済	
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		

実施項目	No.2	(2) 病床数の見直しによる人員の適正配置 ②療養病床の再編			
実施計画内容	現在の病床数(医療療養病床14床、介護療養病床20床)を、医療療養病床を25床、介護療養病床を9床へと転換を行い、平成24年以降は、34床すべてを医療療養病床としたい。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	未実施	一部実施	
	財政効果額				
H22年度取組状況又は結果	《平成21年度》 計画のとおり転換を予定しておりましたが、政権交代により介護病床の廃止を見直す動きもあるため、今年度は現状維持とした。※療養病床は満床状態が続いており、更に増加が見込まれるが、介護病床は14床程度の利用に留まっているため、当面、医療療養病床を4床増床し18床、介護療養病床を16床としたい。 《平成22年度》 医療療養病床 18床、介護療養病床 16床とした。(5月1日付届出済) 介護療養病床の廃止が平成29年度末まで延期となったため、当面現状の病床を確保し、状況を見ながら検討していきます。			実施状況	
				一部実施	
				達成状況	
				検討 (検討中のもの)	
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		
			病床数の変更により、両病床とも稼働率が上がっている。		

大項目

6 当院における経営効率化の取り組み

健全化計画記載 P26

実施項目	No.3	(2) 病床数の見直しによる人員の適正配置 ③病床再編に伴う施設改修			
実施計画 内 容	一般病床及び療養病床の再編に伴い、平成21年上半期中に改修を実施します。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	達成済	
		財政効果額			
H22年度 取組状況 又は結果	《平成21年度》 工事費 18,795千円(内補助金8,936千円) 3階 小児科用病室に改修 2床×4部屋 インフォームド室 4階 特別室改修、総師長室を特別室へ改修4部屋 外来看護師当直室へ ※2階病棟閉鎖に伴う改修は平成21年度にて終了、その他の病棟改修工事は大項目7に記述。 この項目は達成済み			実施状況	
				達成済	
				達成状況	
				達成済	
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		
			患者様からは概ね好評を得ている。また、職員の勤務意欲の向上に繋がっている。		

大項目

6 当院における経営効率化の取り組み

健全化計画記載 P26

実施項目	No.1	(3) 収入増加・確保への取り組み ①専門外来の開設による新規外来患者数の確保及び拡大化			
実施計画 内 容	内科の循環器専門外来(金曜日)、整形外科のスポーツ専門外来(木曜日)の継続に加え、新たに、リウマチ専門外来(隔週2回)を実施します。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	継続実施	
		財政効果額			
H22年度 取組状況 又は結果	専門外来実施状況 午後 《平成21年度》 内科 呼吸器(水曜日・継続)、糖尿病(水曜日・継続)、循環器(金曜日・継続) 整形外科 リウマチ(水曜日・月2回・新規)、スポーツ専門(木曜日・継続) 平成21年度より整形外科のリウマチ外来を新規に開設した。 全体として午後もより多くの患者を受け入れたいが、外来の看護職員は臨時職員が多く、午後は職員が手薄となるため多くの患者を受け入れることが困難な状況である。 《平成22年度》 前年度に引き続き上記の診療科は開設しているが、状況は前年同様。			実施状況	
				継続実施	
				達成状況	
				B (効果がやや下回ったもの)	
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		

大項目

6 当院における経営効率化の取り組み

健全化計画記載 P26

実施項目	No.2	(3) 収入増加・確保への取り組み ②入院患者の受入体制の整備強化による入院患者数の拡大化			
実施計画内容	<p>前述した看護師確保策により、看護師の増員も見込まれ、入院患者の受け入れ体制が整えられるため、一般入院患者のほか、検査入院等の短期入院の受入も容易となり、入院患者の増加が期待される。</p>	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	一部実施	実施	
	財政効果額				
H22年度取組状況又は結果	<p>本計画では、平成23年度には平成20年度(見込)の一般病棟1日平均入院患者数120名から4名程度増えることを見込んでいる。                  《平成21年度》                  看護師の充足が図れず、入院の受け入れ体制強化には繋がっていない。一般病棟1日平均入院患者数117.6人                  《平成22年度》                  一般病棟1日平均入院患者数 121.0人とやや増加した、医師及び看護師が充足された状況では無い中で、2階病棟を閉鎖し看護体制を効率化した成果であり、出来るだけ患者の受入に務めた結果と考える。</p>				実施状況
					実施
					達成状況
					X (現時点で評価しがたいもの)
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		

大項目

6 当院における経営効率化の取り組み

健全化計画記載 P27

実施項目	No.3	(3) 収入増加・確保への取り組み ③診療時・会計時の不要な待ち時間の解消による生産性の向上			
実施計画内容	<p>オーダーリングシステムの導入により、診療予約・検査予約を実施し、無駄の無い患者受け入れ体制を整え、患者数の拡大を図ります。また、会計システムとも連動することから、会計時の待ち時間の短縮も見込まれています。</p>	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	継続実施	
	財政効果額				
H22年度取組状況又は結果	<p>《平成21年度》                  導入前の会計時の待ち時間は平均30~40分程度を要していたが、導入後は平均15分程度になった。また、再診予約、検査予約も導入したことで診察前の不要な待ち時間も短縮できている。オーダーリングシステムを拡張し(H22.2運用開始)各部局との連携が強化されたことにより、会計はもとより検査・レントゲン等各部局での不要な待ち時間は短縮された。                  《平成22年度》                  上記のとおり不要な待ち時間は短縮されているが、外来患者数の拡大には繋がっていない。外来患者数の減少傾向は当院に限ったものではなく、比較的待ち時間の少ない開業医へ流れている傾向にある。医師も診察開始時間の前倒しなどで対応しているが、診察前の待ち時間の短縮には繋がっていない現状がある。</p>				実施状況
					継続実施
					達成状況
					B (効果がやや下回ったもの)
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		
			患者の情報を全ての部局で共有出来る環境から、安全な医療の提供、迅速で正確な診療報酬請求事務などに効果を発揮している。		



実施項目	No.6	(3) 収入増加・確保への取り組み ⑥医療費の支払い方法の多様化			
実施計画内容	患者サービスの向上及び医療費の確実な回収の観点から、医療費の支払い方法の多様化を検討します。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	検討中	検討中	
	財政効果額				
H22年度取組状況又は結果	<p>《平成21年度》クレジットカードの導入を検討したが、課題も多く(①手数料がかかる(中銀だと1.4%程度)通常の窓口支払いにクレジットカードでの支払いが増えると、手数料分収益が下がる。②導入費用、維持費がかかる。③現金の回転率が悪くなる。このほか、財務規則等の所要の改正が必要となる。)先進病院等の活用事例を検証し、再検討することとした。</p> <p>《平成22年度》再検討するも高齢の患者の多い当院では、現状クレジットカードの導入のメリットは少ないと判断し、当面導入を見送ることとし、新たな方策を検討する。</p>			実施状況	
				検討中	
				達成状況	
				検討 (検討中のもの)	
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		

実施項目	No.7	(3) 収入増加・確保への取り組み ⑦患者未収金管理の強化			
実施計画内容	患者支払い分の未収金について、電話催告、訪問徴収を強化するとともに、簡易裁判所の少額訴訟制度(調停・支払督促・訴訟・少額訴訟)を活用し、未収金の回収を図ります。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	継続実施	
	財政効果額				
H22年度取組状況又は結果	<p>《H21年度》平成21年度末現在 30,270千円余りとなっております。基本的な取組みとしては、督促状送付、電話催告、訪問徴収により未収金回収に努めております。</p> <p>H21の新たな取組みは医事、病棟看護師及び医療ソーシャルワーカーとの連携強化により、入院費用の未収金発生懸念のある患者に対し、活用可能な制度説明や分納誓約の提出請求等の未然防止策の強化を図りました。</p> <p>《H22年度》平成22年度末現在 27,300千円余りとなっております。平成21年度取組みに加えて、院内に未収金検討ワーキンググループを組織化し、医局、看護局、事務局が相互に未収金情報を共有、連携し、回収に努めました。</p>			実施状況	
				継続実施	
				達成状況	
				B (効果がやや下回ったもの)	
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		

## 大項目

## 6 当院における経営効率化の取り組み

健全化計画記載 P28

実施項目	No.8	(3) 収入増加・確保への取り組み ⑧診療報酬の請求漏れの防止および査定減減少			
実施計画 内 容	医療行為に対して診療報酬を確実に得るという観点から、診療報酬の請求漏れ防止及び査定減減少への取り組みを行います。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	継続実施	
		財政効果額			
H22年度 取組状況 又は結果	《H21年度》査定率 社保 0.21% 国保0.15% 請求漏れに対しては毎月の請求前に委託先のニチイ学館の診療報酬のスペシャリストが事前審査を行い、疑義が生じた際には、主治医に診療内容を問い合わせ、補正を行っている。査定に対する復活再請求に対しては、毎月、全医師とコメディカル部門責任者が委員となる「保健審査委員会」において保険者からの査定通知を全件チェックし、査定疑義のある案件については再請求を行っている。 《H22年度》査定率 社保 0.21% 国保0.16% 取り組みについては前年同様	実施状況			
		継続実施			
		達成状況			
		A (効果が計画どおり)			
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		
			審査委員会で指摘事項を確認することで、適正な診療及び請求をすることが出来る。		

## 大項目

## 6 当院における経営効率化の取り組み

健全化計画記載 P28

実施項目	No.9	(3) 収入増加・確保への取り組み ⑨ボランティア活動の受入強化			
実施計画 内 容	ボランティアの活動に勤労者・学生も参加できるように活動曜日・時間・内容を見直し、積極的にPRしていきます。 また、ボランティアの組織づくりや、活動員への研修等を行ない育成に努めていきます。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	一部実施	
		財政効果額			
H22年度 取組状況 又は結果	《平成21年度》 ボランティア員の募集は、市広報に掲載したが、応募者は無かった。募集内容を改めて検討する。(今年度未実施) 現状 ボランティア員は2名で、外来ホール装飾品、院外の庭園除草、院内図書の整理整頓等をしていただいている。 活動員の研修会は、応募者に応じて実施する。 《平成22年度》 募集内容は検討したものの、受入日の拡大については、休日は各部局長が不在なため、万が一の対応が出来ない等から困難であり、病院の実情から新たに加える項目も無いと考える。 その他の活動状況は前年同様。	実施状況			
		一部実施			
		達成状況			
		C (ほとんど効果が上がらなかったもの)			
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		

実施項目	No.1	(4) 経費節減・抑制への取り組み ①人件費の適正化			
実施計画 内 容	業務量・業務内容を十分に把握し、適正な人員配置の徹底を図ります。医師・看護師以外は現行の職員数を基に、退職者補充のみを原則とします。この場合においても、費用対効果など、その必要性を十分に考慮します。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	実施	
		財政効果額			
H22年度 取組状況 又は結果	退職者補充状況(正規職員) 退職 H21年度中 医師3名(異動退職2)、看護師1名(定年退職) 採用 H21年度中 医師1名、看護師2名、作業療法士1名 《平成22年度》 退職 H22年度中 医師1名(自己都合)看護師2名(自己都合) 定年退職1名 採用 H22年度中 医師3名(異動2 採用1)、看護師6名 ※医師は異動交替2名及び退職補充1名で21年度末と同人数の確保ができた。 ※看護師は21年度末より、3名増ではあるが計画どおり採用が出来ていない。				実施状況
					実施
					達成状況
					B (効果がやや 下回ったもの)
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		

実施項目	No.2	(4) 経費節減・抑制への取り組み ②材料費の節減・抑制対策			
実施計画 内 容	「過剰在庫や死蔵品、遊休品の発生防止」と「診療材料等の価格交渉の徹底」の2つの観点を中心に取り組みを実施していきます。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	実施	
		財政効果額		8,640千円	
H22年度 取組状況 又は結果	《平成21年度》 過剰在庫や死蔵品、遊休品の発生防止については各部局へ指示し徹底を図っている。 診療材料(医療消耗品等)は品質、規格等が複雑で事務担当では、発注が困難なものも多く購入については各部局で価格交渉を行うよう指示している。また、備品や医療機器等については、見積合わせを徹底している。医師にも、医療機器は出来るだけ、機種指定をせず同等品で低価格のものを選定するよう依頼している。 《平成22年度》 過剰在庫や死蔵品、遊休品の発生防止のため、看護部局で9月末、3月末にたな卸しを行い、3月末在庫分を診療材料費から貯蔵品に振替を行った。 診療材料(医療消耗品等)はできるだけ品質、規格等を統一し、品数を減らす方向で調整している。				実施状況
					実施
					達成状況
					A (効果が計画どおり)
H22年度 効果	経費効果	人員効果	その他効果		
	△8,640千円		診療材料として購入した在庫分を年度末に貯蔵品に振り替えたことで、診療材料費が削減できた。		

実施項目	No.1	(5) その他 ①患者満足度調査の実施			
実施計画内容	外来・入院の患者を対象に、定期的に病院運営全般にわたり意見、要望を聴取し、今後の病院運営に反映させるため、アンケート方式で実施します。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	未実施	
		財政効果額			
H22年度取組状況又は結果	《平成21年度》 外来 9月14日～18日 実施済 配布枚数 869枚(人) 回収枚数 723枚(人) 回収率83.2% 入院 10月5日～11月6日 実施済 配布枚数 196枚(人) 回収枚数 127枚(人) 回収率87.0% ※数多くのご意見・要望が寄せられ、その内容も多岐にわたるため、優先順位を見定め順次改善していきます。 ※平成22年度は未実施。3年程度を目処に調査を実施したいと考えております。 平成22年度は給食で嗜好調査を実施。				実施状況
					未実施
					達成状況
					× 未着手で評価しがたいもの
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		

実施項目	No.2	(5) その他 ②職員研修の実施			
実施計画内容	現在定期的に行っている研修は、病院に課された医療関連の研修が主に実施されています。今後は、これに加え診療報酬関連や職員の接遇など、収益増加・患者サービス向上に向けた研修を実施します。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	継続実施	
		財政効果額			
H22年度取組状況又は結果	《平成21年度》 4月 院内研修「接遇の基本について」講師 石坂彩子 出席者46名 外部講師を招聘し、接遇の基本について院内研修を実施した。 《平成22年度》 4月 院内研修「接遇について」講師 石坂彩子 出席者88名 10月 " 「効率的な医療安全管理体制の構築と医療サービス」実施				実施状況
					継続実施
					達成状況
					A (効果が計画どおり)
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		
			サービス業としての接遇の基本を学び、患者サービスの向上に繋がることが期待される。		

実施項目	No.1	病棟等老朽化した施設の改修			
実施計画内容	改修の必要性は認められたが、再編ネットワーク化の動向を見定めて、優先順位をつけ必要最小限に留めることとされた。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	継続実施	
		財政効果額			
H22年度取組状況又は結果	第6次長期総合計画の大規模改修の計画を変更し、必要最小限の改修に留めることとしました。 《平成21年度》(再掲:2階病棟閉鎖に伴う改修) 工事費 18,795千円(内補助金8,936千円) 3階 小児科用病室に改修 2床×4部屋 インフォームド室 4階 特別室改修、総師長室を特別室へ改修4部屋 外来看護師当直室へ 《平成22年度》 工事費 57,446千円(内補助金26,000千円) 3階・4階西側病室等改修工事(壁・天井・廊下・洗面所・浴室ほか) 52,196千円 3階・4階医療ガス設備工事(5人部屋へ医療ガス設備1ヶ所増設) 5,250千円	実施状況	継続実施	達成状況	A (効果が計画どおり)
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		
			患者様からは概ね好評を得ている。また、職員の勤務意欲の向上に繋がっている。		

実施項目	No.1	改革プランの点検、評価及び公表			
実施計画内容	計画の実施状況を点検・評価するため、毎年2回9月・2月を目途に病院運営協議会に諮問する。進捗状況は、広報にらさき・市及び病院HP・市情報公開コーナーにて公表します。	推進年度及び財政予定効果			
			H21	H22	H23
		推進段階	実施	継続実施	
		財政効果額			
H22年度取組状況又は結果	《平成21年度》 平成21年10月30日 第1回運営協議会開催 平成22年3月25日 第2回運営協議会開催 《平成22年度》 平成22年10月27日 第1回運営協議会開催 平成23年3月 第2回運営協議会開催予定(計画停電の影響のため延期)	実施状況	継続実施	達成状況	B (効果がやや下回ったもの)
H22年度効果	経費効果	人員効果	その他効果		
			点検・評価を受けることにより、進捗状況等が把握され取り組むべき課題が明確になる。		



